



福祉おやべ

こだま

第207号

2021年1月発行

社会福祉法人
小矢部市社会福祉協議会

〒932-0821

富山県小矢部市鷺島15番地

TEL (0766) 67-8611

FAX (0766) 67-4896

<https://www.oyabe.or.jp>

小矢部市善意作品頒布会



～ご協力ありがとうございました～

もくじ

善意作品頒布会	1
新年のご挨拶、石動青葉保育園寄付、 「フードドライブおやべ」	2
民生委員・児童委員、高齢福祉推進員、 地区社協合同研修会、福祉教育サポーター養成講座	3
ふれあい体験教室、 ファミリー・サポート・センター研修会	4
日常生活自立支援事業、脳トレの時間です♪	5
地区社協紹介だより【若林地区社会福祉協議会】	6
福祉作文【高校生の部】、善意の窓	7
ボランティア連絡協議会だより、 ぶち・点字コーナー、つぶやき	8

昨年11月6日(金)から11月9日(月)までの4日間にわたり、最後の「小矢部市善意作品頒布会」を開催しました。

多くの皆さまにご入札いただきました結果833,900円の売上げがございました。この売上金は、地区社会福祉協議会の福祉事業に役立てられます。ありがとうございました。

また、長年、出品にご協力いただきました先生方、ご来場いただきました皆さま、そして運営にご協力いただきました地区社会福祉協議会の皆さま、大変ありがとうございました。ご協力いただきました皆さまに心より感謝申し上げます。



新年のご挨拶

小矢部市社会福祉協議会 会長 日光 久悦

皆様には、新春を清々しい気持ちでお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年から世界中に広がりを見せた新型コロナウイルス感染症は、人と人が向き合うことに活動の基本をおく福祉活動の現場に、非常に大きな影響を与えました。この影響下の中、本会の地域福祉事業の取り組みに対し、多大なご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、現在国においては、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」・「受け手」の関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民ひとりひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指し、各種政策として動き始めております。小矢部市におきましては、「心がやすらぐ健康とあたたかな福祉で支え合うまち」を基本目標の1つとして、総合的、計画的な施策が展開されております。

このような状況にあって、「みんなで支え合い、助け合う」ことの必要性を改めて理解し、地域で支え合うことの大切さを今一度確認し、ともに支え合う地域福祉社会の実現を目指すことが大切であります。

本会といたしましても、役職員が一体となって、明るい地域社会実現のために鋭意努力してまいりますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

小矢部市社会福祉法人連絡会 第3回「フードドライブおやべ」を実施

市内9つの社会福祉法人から成る小矢部市社会福祉法人連絡会が、昨年12月13日(日)、市総合保健福祉センターにおいて「フードドライブおやべ」を実施し、各法人の職員の皆さんから寄付をいただいた食品約1,220点を配布しました。

今回は、約70名の方が来場し、思い思いの食品を持ち帰りました。来場者からは、「すごく助かります。」「毎年、楽しみにしています。」との声が寄せられました。

連絡会では、今後も「地域における公益的な取り組み」について考え、安心して暮らせる地域づくりを目指してまいります。



ご協力いただきました各法人職員の皆さま、
ありがとうございました。

かわいい来訪者 ～収穫を感謝して～

昨年11月20日(金)、石動青葉保育園児の皆さんが、たくさんの野菜や果物を持って、小矢部善意銀行を訪れてくださいました。

秋の豊かな実りを喜び、神様に感謝する「収穫感謝日礼拝」にお家から野菜や果物を持ち寄り、礼拝したあと、福祉のためにとご寄付いただいているものです。あわせて、園児の皆さんの手作りカードもいただきました。

ご寄付いただいた野菜や果物、手作りカードは、市内の福祉施設へお届けしました。



おじいちゃん、
おはあちゃんへ
届けてください。

コロナ禍における 今後の地域福祉活動について考えました

～令和2年度 小矢部市民生委員・児童委員、高齢福祉推進員、地区社協合同研修会～

昨年11月27日（金）、「令和2年度小矢部市民生委員・児童委員、高齢福祉推進員、地区社協合同研修会」をクロスランドおやべ セレナホールにおいて開催しました。

講師として、金城大学 社会福祉学部 教授 内 慶瑞氏にお越しいただき「Withコロナ&天災だからこそ～小矢部型“ふくし”の方向性」と題してご講演いただきました。

民生委員・児童委員、高齢福祉推進員、地区社協関係者128名が出席し、民生委員制度や小矢部市の地域福祉活動の歴史等を学びました。また、コロナ禍における今後の活動のあり方や新しい生活福祉課題についても考えました。

内教授より、支え合いながら安心して暮らせる地域コミュニティをつくっていくために「三人寄れば文殊の知恵」で、みんなでその地区らしい活動を考え、つくり、つなげていくことが大切であり、地域福祉は「未来への投資」であることを教えていただきました。



【講師】金城大学 社会福祉学部
教授 内 慶瑞氏

福祉教育サポーター養成&フォローアップ講座 を開催しました。

昨年12月7日（月）、市総合保健福祉センターにおいて「福祉教育サポーター養成&フォローアップ講座」を開催しました。講師に、富山県社会福祉協議会 地域福祉・ボランティア振興課 課長 水井 勤氏をお迎えし、「福祉教育サポーターの役割」についてご講義いただきました。

学校・地域・社会福祉協議会が連携し、地域の中での生活のしづらさを人ごととせず、問題解決に取り組んでいける力を育ていけるよう役割を共有し、「地域共生社会の実現」を目指して行きたいものですね。



【講師】富山県社会福祉協議会
地域福祉・ボランティア振興課
課長 水井 勤氏

「福祉教育サポーター」とは

地域の中で、『福祉教育』の協力者として、子どもたちの福祉の学びを支援したり、地域福祉活動に参加することで、地域の生活課題を解決するために、みんなで考える機運を作ったりする役割を担います。

『福祉教育』とは

「幸せに暮らせる社会＝お互いが助け合って生きることができる社会」をつくることであり、お互いに助け合うことの大切さを感じ、地域に暮らす1人としてできることは何かを考え、行動するための力を育むことです。



令和2年度 障害者理解促進研修・啓発事業

ふれあい体験教室

～障がいのある方とアート作品作成をとおして交流しましょう♪～

昨年11月21日（土）、市総合保健福祉センターにおいて、「ふれあい体験教室」を開催しました。今回は、臨床美術士の前田 昌子先生を講師にお迎えし、福祉作業所あけぼの第一の利用者の皆さんとアート作品の作成をとおして交流を深めました。

参加者は、思い思いの色を使いながら、お互いに協力し、それぞれ個性のある素敵な作品を完成させていました。完成後は、お互いの作品を鑑賞し、前田先生から良いポイントをほめていただき、少し照れ臭そうな様子でした。



作り方の説明。
上手くできるかな



さあ、挑戦！好きな色は・・・



みんなで鑑賞会♪
個性が溢れる
素敵な作品ができました。



小矢部市ファミリー・サポート・センター研修会

昨年11月24日（火）、市総合保健福祉センターにおいて、小矢部市ファミリー・サポート・センター研修会を開催しました。

小矢部市こども課 保健師 青山氏より、「子どもの世話」についてご講義いただきました。「チャイルドビジョン」を使っての子どもの視野体験や、「誤飲チェッカー」を使ってどれくらいの大きさのものが誤飲の危険性があるかを体験しました。



《参加者の声》

- ・子どもの視野の狭さに驚きました。大人と同じ感覚で接してはいけませんね。
- ・「救命講習」を受講したことはあるけれど、コロナ禍での方法は初めて知りました。



また、小矢部消防署の方による「救命講習」も行いました。コロナ禍における胸部圧迫の方法やAEDの使い方などを教えていただきました。

小矢部市ファミリー・サポート・センターでは、利用会員・協力会員を随時募集しています。

【申込み・問合せ】

小矢部市ファミリー・サポート・センター
(小矢部市社会福祉協議会内)
TEL 67-8611

このようなことで困っていませんか？

～日常生活自立支援事業のご案内～

- 福祉サービスの利用の仕方がわからない。
- 公共料金等の支払いに自信がなくて、誰かに相談したい。
- 通帳や印鑑、証書などの大切な書類をよくなくしてしまう。
- 市役所などから届く書類をどうしたらいいのかわからない。

高齢者や障がいをお持ちの方、1人で生活していくには不安のある方が安心して暮らせるよう、生活支援員が定期的に訪問し、お手伝いします。

お気軽にご相談ください。（相談は、無料です。）



◇サービスの内容◇

①福祉サービス利用のためのお手伝い

- ・福祉サービスの利用に関する情報提供や相談など

②日常的な金銭管理のお手伝い

- ・毎日の生活に必要なお金の出し入れ
- ・公共料金などの支払い手続きなど

③日常生活に必要な手続きのお手伝い

- ・住民票の届出や印鑑登録などの行政手続きなど

④大切な通帳や書類等のお預かり

- ・預貯金通帳や印鑑、年金証書など重要書類の保管

【問合せ】 小矢部市社会福祉協議会 TEL 67-8611

遊んで学んで脳いきいき!! 脳トレの時間です♪

皆さんの脳の活性化を目指し、「おやべ脳トレクラブ」の皆さんから問題です。

問題

文章を読んでみましょう。
どこから始まって、どう読めば文章になるでしょう？

例)

で	つ	た	う
の	ふ	こ	よ
う	ゆ	は	し
と	れ	し	ま

【ヒント】 部分的なつながりを見つけてみましょう。
答えは、「ふゆはこたつでのうとれしましょう」です。
(冬は、こたつで脳トレしましょう)

①

る	ひ	う	よ
ま	は	は	し
の	ぼ	や	き
さ	ん	あ	る



②

し	ん	せ	ん	か
な	ら	あ	て	に
い	い	を	く	な
よ	う	ま	す	ろ
し	ん	が	た	こ

集中力と情報処理能力を鍛えよう！



②ひんがたころなにかんせんしうようまうくであらいを(新型コロナに感染しないよう、マスク手洗いを)

①ひるまのさんぽははやあるきしよう(昼間の散歩は、速歩きしよう) ～解答～



若林地区社会福祉協議会を紹介します

活動の多くは高齢者福祉に関わっていますが、「住み慣れた地域の中で楽しみや生きがいのある日常の生活を」をモットーに活動を行っています。中でも「一人暮らし高齢者及び高齢者の世帯への支援」と「介護予防に資する活発ないきいきサロン活動」が特徴です。地区全体を対象とするサロンに加え、金屋本江、西中、下中、水牧の地区ごとに行われているミニサロンがあります。令和元年度では、延べ回数が29回、延べ参加人数約770名となりました。

今年度はコロナウイルス感染禍により、中止を余儀なくされた行事も多くありましたが、『コロナに負けない！！ できることを、できる人が、できるところから』と感染予防に配慮し、工夫しながら活動を進めてきました。

今後の課題は、保育所の統合で新設されたこども園との交流です。いきいきサロンの園児との交流で見られた参加者の満面の笑み、餅つき大会の協力等、子どもたちと高齢者を含めた地域の人たちとが関われる活動や方法について検討が必要です。

主 な 活 動 内 容

- ケアネット要援護者見守り（随時）
- 一人暮らし高齢者等福祉招待会
- ふれあいいきいきサロン（5回）
- 災害時要援護者一斉安否確認
- 大谷小学校児童通学見守り
（地区老人クラブ連合会と共同）
- 住民福祉懇談会
- 在宅介護高齢者友愛訪問
- 一人暮らし高齢者等歳末ふれあい訪問
- 集落ミニサロン（合計24回）
- 三世代交流会
- ふくしだより発行（年2回） 他

ふくし招待会



一人暮らし等福祉招待会

ふれあいいきいきサロン



花見に行こう！！



大谷小学校見守り



住民福祉懇談会



在宅高齢者友愛訪問



歳末ふれあい訪問



三世代交流



保育園児交流



手作り弁当



ふくしだより

1～47号



福祉作文を紹介します

高校生の部

★最優秀★

福祉について

と な み 野 高 等 学 校 二 年 杉 浦 春 咲

私がと な み 野 高 等 学 校 総 合 福 祉 科 で 福 祉 に つ い て 学 び 一 年 が 経 ち ま し た 。 福 祉 に 対 す る 考 え や 改 め て 気 づ い た こ と が あ り ま し た 。

私が福祉について学びたいと思ったきっかけは、特別養護老人ホームで働いている母の姿です。私の母は、私が物心ついた時から女手一つで私と姉を育ててくれました。いつも疲れているのに仕事から帰ってきて家事や私達の相談事も聞いてくれる憧れの母です。そんな母ですが、仕事から帰って来るといつも決まって、介護の話をしてくれまます。家で一緒に過ごす時間が少ないので、仕事で面白かったことや、大変なこと、楽しかったことを話してくれる時間が楽しみでした。母は十年以上も介護の仕事をしており、小さい頃からたまに母の仕事場に行き、母の働く姿を見てきました。家で見る母とはまた別に、楽しそうに利用者の方と話したり、テキパキと仕事をこなす姿がとてまかつこよく見えました。また、私の周囲には医療に関わる仕事をしている人が多く、よく現場の話を聞く機会が多かったので介護や医療のような人を支える仕事により興味を持ちました。

私が初めていこいの館のボランティアに参

加した一年生の夏、主にレクリエーションや食事の準備などをしました。終わってから反省をして気づいたことがありました。準備や片付けなどにしっかりと取り組めたのはいいけど、活動に参加された他の利用者の方々と話す機会があまりなかったのです。レクリエーションで交流できたはずなのに、準備に気を取られ貴重な交流の場をうまく活用できませんでした。自分のコミュニケーション力を生かせる場でもあるので、これを機に、利用される方々と話せる機会を見つけ、さらに自分の意識に変化が出てきました。今は新型コロナウイルス感染拡大の為、施設での実習が中止になりました。だからこそ、施設や医療に関わるボランティアを通し、少しでも自分のスキルアップに繋がっていきたいと思いました。

今、新型コロナウイルスが全国に広がっており、病院や介護施設、医療関係の仕事をされている方々が、今まで以上に頑張っておられます。諦めずに患者さんにしっかりと向き合ってください。私も自分の将来の為、今自分にできること、医療に対する考えを今一度考え直したいと思っています。



善意の窓

(順不同・敬称略)

(令和二年十月十八日～十二月十七日受付分)

◇一般の福祉事業へ

《物品預託》

・ユニー(株)ピアゴ小矢部店

◇指定預託

《金員預託》

・小矢部市連合婦人会

《物品預託》

・小矢部市立大谷中学校

代表 清水 聖波 他五名

・石動青葉保育園

・小矢部市連合婦人会



小矢部市立大谷中学校 寄付



小矢部市連合婦人会 「愛の一品運動」

ボランティア連絡協議会だより

◇ 令和2年度 小矢部市ボランティア連絡協議会研修会のご案内 ◇

標記研修会を、下記の日程で開催いたします。

日 時：令和3年3月1日（月）

14：00～

場 所：市総合保健福祉センター 3階 大会議室
（小矢部市鷺島15番地）

講 師：社会福祉法人 富山県社会福祉協議会

地域福祉・ボランティア振興課 課長 水井 勤氏

内 容：「コロナ禍におけるボランティアの在り方」について（仮）



今回の研修会は、「小矢部市ボランティア担当
施設職員連絡会」との合同開催となります。

【申込み・問合せ】

小矢部市ボランティアセンター

TEL 67-8611

ボランティア連絡協議会に加入しませんか？

ボランティア連絡協議会では、加入していた
だけのボランティア団体や個人ボランティアの
方を募集しています。

会員同士の交流や情報交換などをとおして、
「つながり」を作り、ボランティア活動の推進
や発展を目指して活動しています。

一緒にボランティア活動を始めてみませんか？



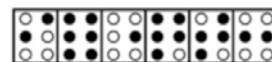
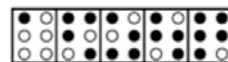
つぶやき

昨年は、新型コロナウイルスの影響で私たちの
生活もすっかり様変わりし、人との交流の制限や
家庭・地域などでの様々な行事の中止など、さび
しい1年でしたね。

今年は丑年。「丑」の字が使われている漢字に
「紐」があります。紐の役割は、結んだり、束ね
たりすること。制限がある中でも、人とのつなが
りを大切にしながら、明るく楽しい年にしたいで
すね。



◇ ぷち・点字コーナー ◇



「あけましておめでとうございます」新年の
ご挨拶です。皆さん、読めましたか？

今年も、外出先や家の中で点字を見つけて、
読んでみましょう。興味のある方は、点字を打っ
てみるのも良いかもしれませんね。